

# 環境・エネ分野で優位性

田高に高い法人税率、貿易自由化の遅れ、それに電力不足。日本企業は「六重苦」にさらされ立地上、大きなデメリットを抱えている。折からの東日本大震災で企業の海外進出に拍車がかかり、国内の空洞化がこれまで以上に懸念される事態になった。しかしその一方で、国内設備投資に回復の兆しが見えることも事実。これまで投資を抑制してきたこともあるが、堅調なノジア向け輸出、また本格化していないが震災復興需要などが企業マインドを好転させている。経済産業省は円高対策や国内立地の支援など、「守り」の空洞化対策だけではなく、「攻め」の対策を提唱している。

田高に高い法人税率、貿易自由化の遅れ、それに電力不足。日本企業は「六重苦」にさらされ立地上、大きなデメリットを抱えている。折からの東日本大震災で企業の海外進出に拍車がかかり、国内の空洞化がこれまで以上に懸念される事態になった。しかしその一方で、国内設備投資に回復の兆しが見えることも事実。これまで投資を抑制してきたこともあるが、堅調なノジア向け輸出、また本格化していないが震災復興需要などが企業マインドを好転させている。経済産業省は円高対策や国内立地の支援など、「守り」の空洞化対策だけではなく、「攻め」の対策を提唱している。

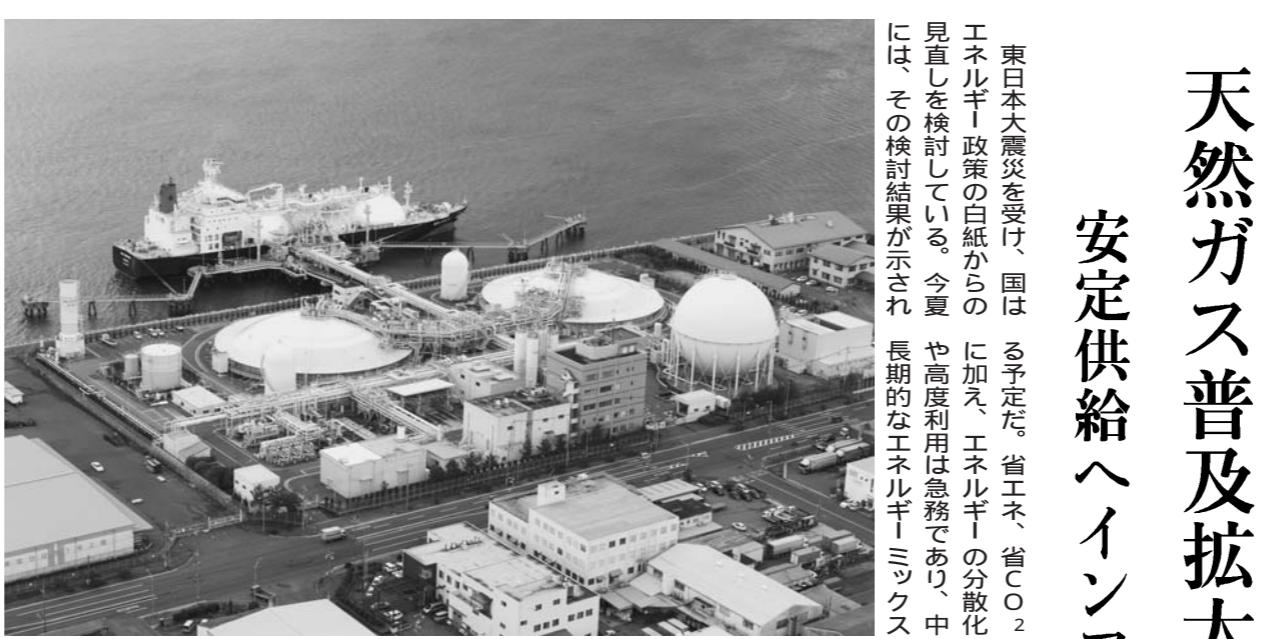


中国地方での営業運転第1号となった中国電力福山太陽光発電所(広島県福山市)に出力3000キロワット(3ガット)までに1万キロワット程度のソーラー発電開発を目指し着実に計画をすすめている。

再生可能エネルギーの重要性が増す中、中国地方でも大企業など異業種からの参入だが、中国電力も2020年度までに1万キロワット程度のソーラー発電開発を目指し着実に計画をすすめている。

20年度めど1万kW日指す 中國電

田高に高い法人税率、貿易自由化の遅れ、それに電力不足。日本企業は「六重苦」にさらされ立地上、大きなデメリットを抱えている。折からの東日本大震災で企業の海外進出に拍車がかかり、国内の空洞化がこれまで以上に懸念される事態になった。しかしその一方で、国内設備投資に回復の兆しが見えることも事実。これまで投資を抑制してきたこともあるが、堅調なノジア向け輸出、また本格化していないが震災復興需要などが企業マインドを好転させている。経済産業省は円高対策や国内立地の支援など、「守り」の空洞化対策だけではなく、「攻め」の対策を提唱している。



中国電力第2弾となるのが山口県宇部市に建設する宇部太陽光発電所(出力3000キロワット)。来年度着工し、14年12月の運用開始を予定。福山も同様に建設場所は明らかにしていないが、日照時間、用地、送電線どちらが条件となり、候補地はこれから検討していく。

1万6544枚のパネルが並び、一般家庭1000世帯の年間電力量をまかなえる中国電力の福山太陽光発電所(広島県福山市)

率は20~1%。月間発電量は43万3360キロワットと想定を上回る実績だ。

敷地面積約20万平方メートル設置面積約4万5000平方メートルが並ぶ。一般家庭約1人あたり横1.4㍍の太陽光パネルが並ぶ。

1万6544枚(総面積1㍍横1.4㍍)の太陽光パネルが並ぶ。一般家庭約1人あたり横1.4㍍の太陽光パネルが並ぶ。

1万6544枚(総面積1㍍横1.4㍍)の太陽光パネルが並ぶ